

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年5月15日

【四半期会計期間】 第51期第1四半期(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 影山 信博

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店  
(大阪府大阪市北区中之島三丁目2番18号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第50期 第1四半期 連結累計期間	第51期 第1四半期 連結累計期間	第50期
	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日
売上高 (千円)	1,460,546	2,924,539	7,861,857
経常利益 (千円)	151,387	526,438	1,134,538
四半期(当期)純利益 (千円)	149,050	518,877	930,193
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	137,063	523,954	917,708
純資産額 (千円)	3,412,888	4,558,139	4,210,217
総資産額 (千円)	9,811,453	10,216,596	10,548,167
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	17.05	58.38	105.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	16.92	58.26	104.58
自己資本比率 (%)	34.7	44.6	39.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における日本の経済は、政府の経済政策を背景として円安や原油安により企業収益は回復傾向となり、雇用・所得環境にも改善の動きが見られるものの、個人消費には停滞感が残り先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においては、労働力不足や資材価格上昇の影響で延期されるプロジェクトも出てきてはおりますが、今後旺盛な需要が見込まれ、人員の確保が喫緊の課題となっております。

PCカーテンウォール業界は今後も多数のプロジェクトが見込まれるものの、各社とも今年度は工場の稼働率がそれほど高まっておらず、製造する案件の確保が至上命題となっております。その中で、当社は業界最大手としての強みを活かし、工場の安定稼働に必要な仕事を確保する所存です。

また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第1四半期連結累計期間における売上高は29億24百万円（前年同四半期比100.2%増）、営業利益5億25百万円（前年同四半期比241.1%増）、経常利益5億26百万円（前年同四半期比247.7%増）、四半期純利益5億18百万円（前年同四半期比248.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### PCカーテンウォール事業

大型物件の売上計上に伴い売上は大きく伸びました。また、採算面では適正な受注単価と適正な工場稼働率を維持した上でオペレーション改革を行ったため、良好な収益構造を維持できました。

当セグメントの売上高は27億94百万円（前年同四半期比125.4%増）、セグメント利益は5億44百万円（前年同四半期比271.0%増）となりました。

#### アクア事業

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校やスポーツクラブのプール以外のプラント工事業業の拡大を図っております。

当セグメントの売上高は1億25百万円（前年同四半期比28.0%増）、セグメント損失は18百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント利益）となりました。

#### その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は5百万円（前年同四半期比95.6%減）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は102億16百万円と前連結会計年度末と比較して3億31百万円の減少となりました。これは主に電子記録債権が2億41百万円増加し、未成工事支出金が5億87百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は56億58百万円と前連結会計年度末と比較して6億79百万円の減少となりました。これは主に未成工事受入金が6億60百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は45億58百万円と前連結会計年度末と比較して3億47百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、四半期純利益の計上により5億18百万円増加したことと、配当金の支払いにより1億77百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間の状況につきましては、(1)経営成績の分析をご参照下さい。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年5月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年3月31日		9,553,011		100,000		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 667,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,815,000	8,815	
単元未満株式	普通株式 71,011		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		8,815	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式211株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	667,000		667,000	6.98
計		667,000		667,000	6.98

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	313,793	140,383
受取手形・完成工事未収入金等	1,017,076	1,193,804
電子記録債権	708,420	949,451
未成工事支出金	4,004,132	3,416,775
その他のたな卸資産	70,483	72,212
その他	74,829	52,173
流動資産合計	6,188,734	5,824,800
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	419,446	421,513
土地	1,861,729	1,861,729
その他(純額)	183,617	201,785
有形固定資産合計	2,464,793	2,485,028
無形固定資産		
	26,659	25,032
投資その他の資産		
投資有価証券	209,951	215,978
投資不動産(純額)	156,207	155,918
保険積立金	729,058	735,756
退職給付に係る資産	101,769	104,145
その他	723,211	722,152
貸倒引当金	52,217	52,217
投資その他の資産合計	1,867,980	1,881,734
固定資産合計	4,359,432	4,391,795
資産合計	10,548,167	10,216,596
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,057,005	1,042,117
短期借入金	1,920,431	1,920,431
1年内償還予定の社債	155,000	125,000
未成工事受入金	1,902,057	1,241,476
引当金	43,139	124,694
その他	203,751	243,980
流動負債合計	5,281,384	4,697,699
固定負債		
社債	227,500	185,000
長期借入金	444,242	386,634
役員退職慰労引当金	333,099	338,615
その他	51,723	50,508
固定負債合計	1,056,565	960,757
負債合計	6,337,949	5,658,457



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,282,659	3,282,947
利益剰余金	912,232	1,253,393
自己株式	122,354	120,707
株主資本合計	4,172,537	4,515,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,896	41,973
その他の包括利益累計額合計	36,896	41,973
新株予約権	784	532
純資産合計	4,210,217	4,558,139
負債純資産合計	10,548,167	10,216,596

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
完成工事高	1,460,546	2,924,539
完成工事原価	1,153,918	2,245,255
完成工事総利益	306,628	679,284
販売費及び一般管理費	152,529	153,675
営業利益	154,098	525,608
営業外収益		
受取利息	142	112
保険解約返戻金	212	-
投資不動産賃貸料	9,806	2,343
受取家賃	3,085	3,314
鉄屑売却収入	5,231	6,741
その他	2,135	2,669
営業外収益合計	20,614	15,181
営業外費用		
支払利息	15,041	9,720
不動産賃貸費用	3,753	971
その他	4,529	3,659
営業外費用合計	23,325	14,351
経常利益	151,387	526,438
特別損失		
固定資産除却損	1,861	5,900
特別損失合計	1,861	5,900
税金等調整前四半期純利益	149,526	520,538
法人税、住民税及び事業税	2,080	2,595
法人税等調整額	1,604	934
法人税等合計	475	1,660
少数株主損益調整前四半期純利益	149,050	518,877
四半期純利益	149,050	518,877

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	149,050	518,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,987	5,076
その他の包括利益合計	11,987	5,076
四半期包括利益	137,063	523,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,063	523,954

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
	106,437千円	1,400千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
減価償却費	28,940千円	30,084千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月30日 定時株主総会	普通株式	177,716	20.00	平成26年12月31日	平成27年3月31日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,239,626	97,692	1,337,318	123,228	1,460,546		1,460,546
セグメント間の内部 売上高 又は振替高				1,500	1,500	1,500	
計	1,239,626	97,692	1,337,318	124,728	1,462,046	1,500	1,460,546
セグメント利益	146,761	912	147,673	5,825	153,498	600	154,098

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

2 セグメント利益の調整額600千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,794,069	125,011	2,919,080	5,458	2,924,539		2,924,539
セグメント間の内部 売上高 又は振替高				1,537	1,537	1,537	
計	2,794,069	125,011	2,919,080	6,995	2,926,076	1,537	2,924,539
セグメント利益又は セグメント損失( )	544,524	18,793	525,730	564	525,165	442	525,608

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額442千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	17円05銭	58円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	149,050	518,877
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	149,050	518,877
普通株式の期中平均株式数(株)	8,740,527	8,888,567
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円92銭	58円26銭
(算定上の基礎)		
普通株式増加数(株)	69,611	17,688
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 5月14日

高橋カーテンウォール工業株式会社  
取締役会 御中

### 八重洲監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 原 田 一 雄 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 三 井 智 宇 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。